

メイン ユーザー

送信者: "PI-Winds編集部" <pi-winds@fbri.org>
宛先: <pi-winds@fbri.org>
送信日時: 2008年2月14日 2:00
件名: ポーアイの風 <臨時版・2月度追補>

ポーアイの風 【神戸医療産業都市 e-net】
臨時版 2008. 2. 14

このメールは、(財)先端医療振興財団および神戸医療産業都市構想に関係のある皆さま、関連セミナー・イベントにご参加頂いた皆さまを中心にお送りさせて頂いています。配信の新規登録・変更・停止は末尾のURLから、お問合せはpi-winds-info@fbri.org までお願いします。

「ポーアイの風 <臨時版>」について

「ポーアイの風 <月刊>」は月1回月初の配信です。
「ポーアイの風 <臨時版>」では月半ばに直近の最新情報の追加のご案内と、「こちらPI - Winds編集部」のみを掲載致します。

「ポーアイの風(No.6、2月号)」は下記からもご参照できます。
この臨時版と併せてご利用下さい。
<http://www.ibri-kobe.org/archive/pi/pdf/feb>.

「ポーアイの風」 セミナー & イベント情報 2月度追補
= 最新情報の更新、詳細については各機関のURLからご確認下さい。 =

<理研MIRP 主催 >

02/20 16:00-17:30 @ 理研MIRP 大会議室
[Molecular Imaging Research Program Seminar]
演者: Prof.Antony Gee /Imperial College of London
「Application of Molecular Imaging for Drug Discovery
and Development」
http://www.cdb.riken.jp/mirp/seminer/seminer_pdf/080220.pdf

<関西広域クラスター(神戸) から >

『医療統計学基礎の基礎セミナー 開講 のご案内』

本プログラムは、大学、研究機関、ベンチャー、企業等でバイオメディカル分野の研究開発に携わっている方を対象に、医療統計の基本を学ん

でいただくことを目的に開講します。皆さまのご参加をお待ちしています。
(授業料:無料)。

講師 : 嘉田晃子/国立循環器病センター(第1-4回)
寒水孝司/阪大・臨床医工学融合研究教育センター(第5-6回)
対象 : 医療統計学の基本的な考え方を学びたい方
定員 : 20名
会場 : 神戸国際ビジネスセンター KIBC北館 4階会議室
日時 : 3/1(土)、3/22(土)、3/29(土)

- 第1回 (3/01) 13:00-14:30 「コントロールの役割」
臨床研究に登場する色々なコントロールの重要性、役割、
ランダム化 他
- 第2回 (3/01) 14:50-16:20 「臨床研究のデザイン」
観察研究、介入研究のデザイン、研究開発のステップ 他
- 第3回 (3/22) 13:00-14:30 「エンドポイントと効果の指標」
効果をどのようにして評価するか、研究計画とエンドポイント 他
- 第4回 (3/22) 14:50-16:20 「仮説検定の考え方」
検定と推定、効果の指標と信頼区間 他
- 第5回 (3/29) 13:00-14:30 「症例数設計」
なぜ症例数を見積るのか、症例数設計された研究とそうでない
研究の違い、症例数設計の計算原理とその方法 他
- 第6回 (3/29) 14:50-16:20 「交絡とは？」
交絡の概念、研究デザインと解析による交絡への対処 他

【お問合せ・お申込み】

お申し込みは 件名を『医療統計学セミナー申込み』とご明記の上、
1)お名前、2)会社・大学名、3)ご住所、4)電話番号、5)E-mailアドレスを
記入し、FAX : 078-306-0752 または E-mail : statistics@fbri.org
までご送信下さい。

申込期限 : 開催日の3日前まで。(定員に達し次第締切致します。)
お問合せ先は、TEL:078-306-0710 (先端医療振興財団 竹内) まで。

こちら PI-Winds 編集部

さる2月3日に「先端医療と市民の協働を考えるシンポジウム」
というちょっと耳慣れないタイトルの催しが神戸TRIで開催されました。
これは、「医療産業都市」をもっと市民に近いものにする一つの新しい
企画として始められたものだそうです。

今回、プログラム構成にあたって、理研CDB・西川伸一先生が、
「先端医療の発展のため、患者さんたちも行政に頼るだけでなく、
疾病治療・撲滅のための研究支援をすべく、より積極的に社会に
働きかけていくようになって欲しい。」…との旨の熱い願いで、
国際若年性糖尿病財団(JDRF) CSOのゴールドスタイン先生を
基調講演に招聘されるに至ったそうです。

当日は寒い中、がんや難病の患者団体の方や一般市民を中心に

約140名もの参加がありました。この模様は神戸CATVで今月の12-20日にダイジェスト版が放映されるとのこと。

さて、JDRF は、1970年に若年性糖尿病患児を持つ数名の親たちによって設立されましたが、FY2006には 20ヶ国の500名以上の研究者に、計 1.22億米ドルもの研究支援をする1型糖尿病関連研究における世界最大の非営利、民間の資金援助団体となっています。

その活動は、「研究資金の調達」「患者支援」「子供会議の運営」「1型糖尿病研究支援」ほか多岐に渡っていて、最近ではヒトES細胞も含めた幹細胞研究に対する資金援助もされてます。

ところで、ちょっと意外なことは・・・資金調達について、億万長者や大企業等の大口寄付は1割程度で、その殆どは、患者家族らが中心となって、友人、知人等に支援を働きかけ、数ドルといった少額から集め始めたものの結果による寄付だとか。

また、支援対象研究については、世界一流の科学者による審査を経た後、患者、家族ボランティア自らが財団の目的・使命にあったものかどうか、臨床応用に近いか等を審査する一般審査の過程を踏んで決めていくそうです。

日米では、寄付控除税制や寄付の文化など、いろんな面で違いもありますが、一般人も積極的に治療研究に関わっていく姿勢や、寄付金集めさえ一定のルールの下にちょっとしたゲーム感覚で参画できるようになっているらしいことをJDRFのHPから知り、何事にも、ちょっとした「発想の転換」が必要なのかも、と思った次第。

(* JDRFのHPは <http://www.jdrf.org> からご覧になれます。)

「ポーアイの風」の配信お申し込みは

<http://60.32.178.43/DimSystem/AutoRegistMailAddress?grp=4>

「ポーアイの風」の配信中止は

<http://60.32.178.43/DimSystem/AutoDeleteMailAddress?grp=4>

配信先変更については、一度登録を解除の上 再度ご登録ください。

このメールは送信専用アドレスから送信されています。お問合せは pi-winds-info@fbri.org までお願いします。

個人情報の取り扱いは、別途定める「個人情報保護方針」に従います。
弊財団では登録読者のメールアドレスは、メールマガジン配信 及び 弊財団からの連絡の目的でのみ使用致します。

先端医療振興財団 PI-WINDS 編集部

